

2015年1月1日発行（年1回発行）

TAKE FREE
¥0



おかや音楽協会情報誌

MUSE

2015 年号

発行元 おかや音楽協会

第七十二回市民音楽祭

岡谷市の文化祭「第七十一回市民音楽祭」が十一月三日カノラホール大ホールで開かれた。市内を中心に活動する、三十四団体、約一二〇〇人が出演し、思い思いに工夫を凝らした合唱や合奏、バイ



ごちゃまぜウィンドオーケストラ

オリン、ハーモニカ、オーケストラなど多彩な演奏を繰り広げた。岡谷市文化祭の一環である岡谷市民音楽祭は、三年前おこや音楽協会が設立されてからは、岡谷市教育委員会とおこや音楽協会が共に主催をしている。同協会にとっても最大の行事であるこの音楽祭だが、副題には今年も「愛情あふれる手作り音楽祭へようこそ！」を掲げている。三澤純也さんが実行委員長を務め参加者と会



アナ雪を歌う田中小合唱団



岡谷マンドリンクラブ

唱団員が担当。うなぎの街岡谷のゆるキャラ「すわ湖太郎&うーなちゃん」も会場に駆けつけくれた。午前と午後二部構成で行われ、一般の団



司会とゆるきゃら

場が一体となり様々な音を共有した一日だった。司会はカノラ少年少女合唱

体をはじめ、小学生や中学生、高校生も多数出演。発表する曲も童謡・唱歌、歌謡曲、クラシック、合唱組曲、映画で話題の曲など幅広く、多彩な音色でステージを彩った。音楽祭のためだけに毎年団員を市民から募集して結成される「ウルトラしみん合唱団」と「ごちゃまぜウィンドオーケストラ」は、それぞれ一、二部の最後近くに登場した。



カノラ少年少女合唱団



ウルトラしみん合唱団

普段は別々に活動をしている方々や、しばらく音楽から離れていた方が様々な思いでステージへと立った。

「ウルトラしみん合唱団」(団長 土田信さん)は今年で七回目。親子で初めて参加したという、青沼こずえさん(母)は「子どもと一

緒にステージに立てることが嬉しいです。いろいろな世代の方と交流ができ、貴重な経験だと思えます。」と、また、綾音さん(娘)〈小学生〉は「ふだんはカノラ少年少女合唱団で歌っているが、いつもと違っておもしろい。」と話してくれた。昨年に引き続き指揮を担当する武井紀代美さんは、「今回「いのちの歌」を選曲しました。



青沼さん親子

誹訪で一年生の子どもが心臓移植を受けるというニュースが伝わりました。一生懸命に生きようとするこの子どもの姿に、改めて「命」というものについて考える機会となりました。普段当たり前に思っている命。今、生きているということはどうなることなんだろう、と子ども達と一緒に考える機会となり、歌詞の中にある



「本当にだいいなもの隠れて見えない。ささやかすぎる日々のなにかにかけがえ

ない喜びがある…この命にありがとう…」という「いのちの歌」が重なりました。今回のステージでは、子どもから大人まで一緒に歌うことで「命」についてより深く感じ、人と人がつながる良い機会になったら嬉しいですよ。」と。全員が参加して練習できる機会も少なく限られた時間で仕上げたとは思えない会場が一つになった瞬間だった。

「「こちやませウインドオーケストラ」(団長武田清さん)は昨年のアンケートで希望が多かった曲を選曲した。少し難易度が高かったため、練習回数を増やして取り組んだ。



●トランペット 吉田章宏さん

吹奏楽の経験はあり機会があればまたやりたいと思っております。仕事が忙しく決まった団体に入ってもできないことは目にみえているので入れません。この企画はありがたいです。楽しんで演奏できます。自分の年間のスケジュールに入っています。年に一回のお祭りは最高ですよ。



高山文宏さん(中央)・吉田章宏さん(右)

●ホルン 高山文宏さん

日頃はカノラオーケストラに入っています。今回勧められて参加しました。

楽しいですよ。いろいろな人が集まって音楽をする仲間が増えることはとても良いと思います。このコンセプトが良いですね。

●フルート 横内沙知さん

広報おかやを見て、久しぶりに吹いてみたいと思つて参加しました。仕事の関係ですつと機会がなく残念に思つていましたが、今回参加できて嬉しかったです。久しぶりに楽器を吹けたこと、大勢の人と一緒に



横内沙知さん

ステージ上でも気持ち良く吹けてとても楽しかったです。来年もぜひ参加したいです。

●クラリネット 出井ちなつさん (高校生一年)

以前いた小学校の器楽部で始めたが五年生の時、転校して参加するようになりました。六年目の参加になります。難しい曲だったので大



出井ちなつさん

変でした。分りやすい指導のおかげで何とか最後までできました。これをきっかけにカノラータに入団しました。

指揮を務めた

宮下大樹さんのコメント

五年目になります。年々若い参加者が増えてきて、レベルも上がつてきていると感じている。この一回のためだけに集まった団員でカラーも違うので今してほしい事と、これからの事も見据えた指導を心がけた。この曲はコンクールの課題曲でもあり少し難易度が高かった。練習を通じて様々な要求をしたにもか



宮下大樹さん

かわらず最後までついてきてくれた。感謝しています。『今後も機会がありましたら一緒にやりましょう。』と退団式でやりとげた団員をねぎらい達成感を共有していた。

宮下氏プロフィール

東邦音楽大学音楽科フルート専攻卒業。フルートオーケストラ「ベルソナ」「カノラータオーケストラ」に所属。

一部二部の終わりには会場全員で恒例の「岡谷讃歌〜ロマン街道〜」「ふるさと」の大合唱と大きな拍手で音楽祭の幕を閉じた。

音楽祭プログラム (左ページ)



歌集部会 (倉田啓子部会長)

音楽祭で先行販売した歌集「百歌 (ひゃくうた)」が販売数五〇〇部を上回る売れ行きで早くも増刷が決定しました。



百歌販売中!

団員募集支援部会 (高木光富部長)

音楽祭では団員募集中の団体一覧表を配布しました。

募集中の団体は次の通りです。青葉愛唱会、歌い人ごんべ、岡谷合唱団、岡谷マンドリンクラブ、カノラータ・オーケストラ、川岸女声コーラス、混声合唱団岡谷せせらぎ会、女声コーラスしなの、やまびこ男声合唱団

※詳しくは音協 Web サイトをご覧ください。

法被作製部会

音楽協会の法被が完成し、5月の総会でお披露目しました。今回の市民音楽祭ではスタッフが法被を着て気分を盛り上げ、会場にも活気があふれました。



第71回市民音楽祭 プログラム



平成26年度 岡谷市文化祭
第71回

市民音楽祭

～愛情あふれる手作り音楽祭へようこそ！～



2014年 11月3日(月)文化の日

岡谷市カノラホール(大ホール)

第1部 10:00～
第2部 13:10～

主催 おかや音楽協会
岡谷市教育委員会

～市民手作りの音楽祭を楽しんでいただくために～

1. 自分の出演する部の発表は、はじめから終わりまで鑑賞しましょう。
2. 三脚やフラッシュの使用を伴うビデオ・カメラ撮影はご遠慮ください。
3. 音楽祭中の呼び出しはご遠慮ください。
4. 携帯電話の電源はお切りください。
5. ホール内は飲食禁止です。
6. カノラホール前での送迎はご遠慮ください。

第1部

10:00開演

- 1. スズキ・メソード 岡谷諏訪支部** 指揮: 増澤 治雄 伴奏: 増澤 公子
♪ブーレ 作曲: ヘンデル
♪絆人の合唱 作曲: ウェーバー
♪アレグロ・むきゅうどう 作曲: 鈴木鎮一
♪キラキラ星変奏曲 作曲: 鈴木鎮一
- 2. 田中小学校合唱団** 指揮: 吉田 敦子 伴奏: 辛 広輝
♪栄光の架橋 作詞・作曲: 北村悠仁 編曲: 今村康
♪レット・イット・ゴー～ありのままで～ 作詞・作曲: Kristen Anderson Lopez and Robert Lopez
- 3. 青葉・今井・岡谷熟年合同歌唱会** 指揮: 降幡 智敏 伴奏: 宮阪 清恵
♪花の街 作詞: 江間章子 作曲: 團 伊久磨
♪ふるさとは今もかわらず 作詞・作曲: 新沼謙治
- 4. あかしあコーラス** 指揮: 伊藤 喜美子 伴奏: 林 ひとみ
♪サウンド・オブ・ミュージックよりサウンド・オブ・ミュージック 作詞: 原梨香 (日本語詞)
♪いのちの歌 作曲: R・Rodgers 編曲: 山室統一
作詞: Miyabi 作曲: 村松崇継 編曲: 今村康
- 5. 湊小学校6年** 指揮: 中緒 賢輔
♪「ダンスリー」より ロンド、パッサ・メッツォとナーハタンツ、バヴァース「戦い」 作曲: T.S.ザート
- 6. 北部中学校合唱部** 指揮: 藤森 紘美 伴奏: 川口 直希
♪ホール・ニュー・ワールド 作詞: タイム・ライズ 作曲: アラン・メンケン
♪愛をこめて花束を 作詞: 越智志帆・多保孝一・いしわり洋治 作曲: 多保孝一
- 7. 川岸女声コーラス** 指揮: 佐原 玲子 伴奏: 横内 洋子
♪女声合唱とピアノのための「近代日本名歌抄」より 影を慕いて 作詞・作曲: 古賀政男 編曲: 信長貴富
♪涙をこえて 作詞: かざ耕士 作曲: 中村八大
- 8. 川岸小学校合唱部** 指揮: 木村 千文 伴奏: 小口 京子
♪太陽と大地の子供たち 作詞: 人見啓子 作曲: 高澤健治
♪Dream & Dream ～夢をつなごう～ 作詞・作曲: 弓削田健介
- 9. 岡谷西部中学校吹奏楽部** 指揮: 平 直子
♪ジョン・ウィリアムズ映画メドレー 作曲: J.ウィリアムズ 編曲: M.スウィニー
♪勇氣 100% 作曲: 馬飼野康二 編曲: 本澤なおゆき
- 10. 岡谷合唱団** 指揮: 佐原 武 伴奏: 林 聖子
♪あなたの名を呼んで 作詞・作曲: 唐沢史比古
♪光のらせん 作詞: 奥原智美 作曲: 唐沢史比古
- 11. カノラ少年少女合唱団** 指揮: 佐原 玲子・林 のぞみ 伴奏: 横内 洋子・林 聖子
♪若者たち 作詞: 藤田敏雄 作曲: 佐藤勝 編曲: 寺島尚彦
♪手のひらを太陽に 作詞: やなせたかし 作曲: いずみたく
- 12. 高尾山男声合唱団** 指揮: 佐原 玲子 伴奏: 横内 洋子
♪時代 作詞・作曲: 中島みゆき 編曲: 信長貴富
♪雨 作詞: 八木重吉 作曲: 多田武彦

- 13. 岡谷マンドリンクラブ** 指揮: 金子 勝
♪スペインの花 作曲: R.カサド
♪栄光の架橋 作曲: 北川悠仁 編曲: 佐合征一郎
- 14. あひるコーラス** 指揮: 小池 由美 伴奏: 矢崎 いずみ
♪アニュス・デイ グレゴリオ聖歌
♪アヴェ・ヴェルム・コルプス 作詞: 三谷浩 作曲: モーツァルト 編曲: 島田広
♪さやかに星はきらめき 作詞: 不明 作曲: アダム
- 15. 神明小学校音楽クラブ** 指揮: 大熊 望 伴奏: 高木 啓恵
♪スクールライフはエンジョイしなくちゃ 作詞・作曲: 美鈴こゆき
♪わたしが呼吸するとき 作詞: 坂田江美 作曲: 吉田峰明
- 16. ウルトらしみん合唱団** 指揮: 武井 紀代美 伴奏: 油井 綾音
♪里の秋～村祭り 作詞: 斎藤信夫、葛原麻 作曲: 海沼実、南能衛
♪いのちの歌 作詞: Miyabi 作曲: 村松崇継 編曲: 高澤裕
- 17. 岡谷工業・岡谷南・岡谷東高等学校吹奏楽部** 指揮: 久保 順平
♪INVICTA 作曲: J.スウェアリンゲン
♪スーパーマリオブラザーズ 作曲: 近藤浩治 編曲: 金山徹
- 18. 全体合唱** 指揮: 武井 紀代美 伴奏: 油井 綾音
♪岡谷讃歌～ロマン街道～ 作詞: いではく 作曲: 宮川泰 編曲: 宮下荘治郎
♪ふるさと 作詞: 高野辰之 作曲: 岡野貞一

～休憩～

- 第2部 13:10開演
- 1. 岡谷南部中学校吹奏楽部** 指揮: 岡見 陽子
♪「ルパン三世」のテーマ 作曲: 大野雄二 編曲: 山下国俊
♪ GUTS! 作曲: SAKRA 編曲: 本澤なおゆき
 - 2. 岡谷せせらぎ会** 指揮: 高木 昭好 伴奏: 山田 洋子
♪夏の思い出 作詞: 江間章子 作曲: 中田喜直
♪河口 作詞: 丸山豊 作曲: 團伊玖磨
 - 3. 小井川小学校音楽部** 指揮: 三浦 光恵 伴奏: 田中 景子
♪ようちやんが 作詞: さねよし子 作曲: 横山潤子
♪ありのままで 作詞・作曲: Kristen Anderson Lopez and Robert Lopez
 - 4. ハーモニカ21** 伴奏: 山中 郁美
♪冬の星座 作曲: ヘイズ 編曲: 岩崎重昭
♪希望のさきやき 作曲: ホーソン 編曲: 斎藤寿幸
 - 5. 岡谷東部中学校合唱部** 伴奏: 山中 郁美
♪～YuReeNa スペシャル～ 作詞・作曲: YuReeNa
♪きみのほっぺ 作詞・作曲: YuReeNa
♪この一瞬を今 作詞: 岡谷東部中学校 作曲: YuReeNa

- 6. 楽しいコーラス** 指揮: 降幡 智敏 伴奏: 両角 亜紀美
♪忘れな草をあなたに 作詞: 木下竜太郎 作曲: 江口浩司 編曲: 奥田政夫
♪ふるさは今もかわらず 作詞・作曲: 新沼謙治 編曲: 遠藤謙二郎
- 7. 長地小学校4学年** 指揮: 伊達 ゆかり 伴奏: 塩澤 おおる
♪世界がひとつになるまで 作詞: 松井五郎 作曲: 馬飼野康二 編曲: 原由多加
♪気球に乗ってどこまでも 作詞: 兼龍男 作曲: 平吉毅州
- 8. 上の原小学校音楽クラブ** 指揮: 小林 由佳
♪太陽くれた季節 作曲: いずみたく 編曲: ノノ瀬武志
♪シンクロ BOM-BA-YE 作曲: 佐藤直紀 編曲: 山下国俊
- 9. やまびこ男声合唱団** 指揮: 小口 勝彦 伴奏: 鶴生川 育実
♪男声合唱曲集「ほほえみ」から 朝に 作詞: 立原道造 作曲: 鈴木憲夫
♪男声合唱曲集「ほほえみ」から ほほえみ 作詞: 小田切清光 作曲: 鈴木憲夫
- 10. 岡谷小学校合唱団** 指揮: 松浦 亜紀子、石田 美夢 伴奏: 牛山 千恵子
♪ブラックパンサー(黒い豹) 作詞: 秋葉てる代 作曲: 橋本祥路
♪Melody ～伝えよう 広げよう 私たちの音楽～ 作詞・作曲: 中山真理
- 11. アンサンブル Milou** 伴奏: 三澤 優菜
♪中国民歌を素材としたリコーダー重奏のための組曲 作曲: 影山健樹
- 12. 岡谷西部中学校TAKOYAMAうたごえ講座** 伴奏: 三澤 優菜
♪琵琶湖周航の歌 作詞: 小口太郎 作曲: 吉田あちき
♪花の名 作詞・作曲: 藤原基央 編曲: 神坂真理子
- 13. 女声コーラスなどの** 指揮: 佐原 玲子 伴奏: 下平 昭子
♪重なり合う手と手 作詞: 和合亮一 作曲・編曲: 新実徳英
♪道化師のソネット 作詞・作曲: さだまさし 編曲: 松下耕
- 14. カノラター・オーケストラ** 作曲: ヨハン・シュトラウス
♪芸術家の生涯
- 15. 岡谷西部中学校3学年** 指揮: 武田 玲奈 伴奏: 濱 玲奈
♪決意 作詞: 片岡暉 作曲: 鈴木憲夫
- 16. 歌い人ごんべ** 指揮: 佐原 玲子 伴奏: 油井 綾音
♪一日に何度も 作詞: 高田敏子 作曲: 岩野三郎
♪僕が一番欲しかったもの 作詞・作曲: 横原敬之
- 17. ごちやまぜウインドオーケストラ** 指揮: 宮下 大樹
♪さくらのうた 作曲: 福田洋介
♪Folklore For Band ～吹奏楽のための民話～ 作曲: J.A.コーディル
- 18. 全体合唱** 指揮: 宮下 大樹 伴奏: 油井 綾音
♪岡谷讃歌～ロマン街道～ 作詞: いではく 作曲: 宮川泰 編曲: 宮下荘治郎
♪ふるさと 作詞: 高野辰之 作曲: 岡野貞一

おかや音楽さんぽ

日本のうた



今年の6月トルコに旅をした。トルコは親日国であるという情報の通り、訪れるいたるところで日本人に好意を持ってくださることが感じられ、人も食べ物も、その歴史も、自然も忘れられない素敵な旅となった。旅の話はどこかでする機会もあるでしょうから、ここではその中でツアーの中に組み込まれていたベリーダンスディナーでの一コマのお話をしてみます。

なんと、その会場には五か国ほどの客がいたようです。何故そのことが分かるかという、何とも凄いことに司会の中年男性が、その日来ている客へのサービスでそのお国の言語で代表的な歌を歌って場を盛り上げたからです。その狙いの通り、それぞれ聞きなれた自分の国の歌になると待ってましたとばかり、大きな声で歌い盛り上がる。もちろん私たち日本人ももれなく、流れてきた「上を向いて歩こう」の歌を生バンドで気持ちよく大きな声で歌い大盛り上がりでした。時間が過ぎ、今度は皆一緒ではなく、一人ずつステージに上がってお国の歌を歌ってもらうコーナーらしい。イタリア人が明るく元気に歌った後、日本人はツアー仲間の30代の男性がステージに呼ばれました。バンドから流れ始めた曲は、なんと「さくら」。最近流行の「さくら」でなく“♪さくら～さくら～やよいのそら～は～♪”です。当然日本の代表的な曲だと選曲されたのですが…どうしたことが彼は促されながらも全く歌えず、自然とトルコ人の司会者の歌になってしまったのです。仲間の日本人としては、さっきの盛り上がりはどこへやら…その一瞬ハラハラ！シュンとなってしまったことは想像できるかと思います。あとから一緒にツアーの人に“本当に知らなかったの？”と聞かれ、“わからなかった”としょんぼりと言っている彼。なんだかこんなことだけど、よその国にいて、日本を思う気持ちはより強くなっているのに…日本人ならば、歌えて当然と思っていた曲だけに、残念だったなあ。その後のベリーダンスを見ながら、日本の歌、日本の心を豊かに歌えるようになりたいと自分自身も振り返ったひと時でもありました。

さて…それから二か月後

岡谷市民音楽祭の

公募と練習が始まりました

ごちゃまぜウインドオ～ケストラ

発足してから7年目を迎えるこのオーケストラとはいったい何物でしょう！と目を凝らしてみれば・・・なるほど本当にそれはごちゃまぜの楽しいオーケストラなんです。しかも、2か月限定。集まった人をちょっと観察してみれば・・・

◎家で眠っている楽器を”ちょっと起きてみて”と揺り起こした人。◎今も鳴り続けているけど、ちょっと環境を替えて楽しんじゃおうかな！と思いついた人。◎この年齢では本格的なオーケストラには入れそうにない。でも、人と一緒に楽器を鳴らしてみたいと願った人。◎仕事が忙しくて楽器を鳴らす機会が創れないから 期間限定のこのオーケストラで楽しみたい、といそいそと出かけてきた人。まあ皆さんその理由は参加人数分の様子。このオーケストラのコンセプト「市民音楽祭は市民で楽しむものだから、願いも楽器もそれぞれに持ち寄って音楽を楽しみましょう」と大きな懐で楽しませてくれる素晴らしい企画が他に日本のどこにあるのでしょうか。2か月を皆さんにこにこ笑顔で「あー楽しかった・あそこできなかつたよ一家で練習してくるね。私はあそこの箇所は無理だからお願いね」などと昨日まで知らなかった仲間とおしゃべりしながら、人と集える心ウキウキの気持ちを重ねつつ、本番をめざし楽しんでいるのです。

それにしても、この団体を率いるスタッフと音楽を仕上げる指揮者のご苦労には心から感謝です。

いっしょに歌いましょう！

歌魂部会より

私たちの周りで長い間歌われてきた童謡や唱歌などをこれからも歌い継いでいきたいと思ひ歌魂の集い（うただまのつどい）として活動を始め三年目になりました。そしていくつかの歌の講座を開く中で感じた自分たち自身の歌集が欲しいとの思ひが、おかや音協発行の歌集「世代をこえて百曲を歌おう」につながりました。

今年度の活動は主に四つに分けられます。

- ♪ おかや音楽協会主催講座
- ♪ 「岡谷市放課後子ども場所 づくり事業」での歌の集い
- ♪ 公民館主催事業での歌の講座
- ♪ 他団体主催のイベントに参加する。



これからも更に多くの皆さんに参加していただけるような、歌を中心とした講座を開いていきます。音協WebサイトにもUPさせていただきますのでよろしくお願ひします。

おかや音楽協会
<http://okayaonkyo.com/>



『世代をこえて百曲を歌おう』 (B5版)

おかや音楽協会独自の歌集。

11月3日(祝・月)初版発刊 いたしました!

この歌集は
ひやく
うた
と
呼んで
ください!

ごあいさつ

おかや音楽協会歌集部会 部長 倉田啓子

これからの子どもたちは、どのような歌を歌っていくのだろう。ここから全てが始まりました。

四季折々の豊かな自然を歌った歌。そこに暮らしてきた人の心情を歌った歌。そんな美しい風土や優しい心を表現した歌は、人の心に響きます。歌は心を素直にしてくれます。楽しくしてくれます。慰めてくれます。伝えていきたい歌が多数あります。歌を通して心にうたえる歌集を作ろうと思いました。

皆さんのアンケートにより古くから歌い継がれ、これからも歌い継いでいきたい歌を100曲にまとめ、歌集『世代をこえて百曲を歌おう』を作りました。

全ての曲に解説を付けましたので、読み物としてもおもしろく、あらためて曲のイメージがわき上がってくると思います。

今後、おかや音楽協会主催の歌魂講座では、この歌集を使います。



100曲の他に6つの昔話歌と、「信濃の国」など地元の曲を4曲入れ、全部で110曲です。

定価 税込1,000円
笠原書店で販売しています。

まだお買い求めいただいていない
会員の方には、会員価格800円で
販売いたしますので、事務局まで
お問い合わせください。

日本音楽著作権協会 (出)
許諾第1411665-401号

紅

文部省唱歌

♩=93



あきのゆうひに
たにのながれに



こいもうすいもて
なみにゆられもて



まつをいろどるの
あかやきいろの



やまのふもとのも
みずのうえに

水の上にも
 赤や黄色の
 波に揺られ
 溪の
 赤い
 赤とん
 秋の子
 あざみの
 あめふり
 雨降りお月さん
 あんたがたどこさ
 一月一日
 五木の子守唄
 うみ
 海
 うれしいひなまつり
 おうま
 お猿のかごや
 お正月
 朧月夜
 おもちやのマーチ
 かあさんの歌
 かごめかごめ
 肩たたき
 かなりや
 かたつむり
 かあさん
 エッサ
 もういっつ
 葉の花晶に
 やつとこやつと
 かあさんは夜
 かごめ

紅葉 (もみじ)

『尋常小学』
葉の風景で
葉を眺め、
現在は
唱のよ
にした

会員のみなさんはすでにお買い求めいただき、お使いいた
だいでいることでしょう。

100曲+10曲、このうちみなさんは何曲ご存知でしたか。
1番は知っているけど、2番の歌詞はぜんぜん知らなかった、
という曲もあったことでしょう。ぜひどの曲も、日本語の美し
い響きと、歌詞の心を伝えるメロディを味わいながら歌って
みてください。

各新聞紙上に紹介されたことで、県内各地より問い合わせ
がありました。「楽譜も歌詞も解説も載っている、こんな歌
集がほしかったんです。ありがとうございます。」こうしたお
声をたくさんいただきました。

使い途はさまざま。高齢者施設で使いたい、歌の教室で使
いたい、ひ孫と一緒に歌いたいなどなど。県内各地のさま
ざまな場面でお役に立っていることと思います。

さて、会員のみなさんはこの歌集をどんなふうにお使いで
しょうか。会の仲間と?職場で?ご家族で?

この歌集、

こんなところでこんなふうに使っているんですよ。

こんなときこんな人たちとこんな歌を歌ったんですよ。

歌集を使っつてのそんなようすを、是非お知らせください。こ
れからの活動の参考にさせていただきます。

この歌集がこの地に根付き、そして歌魂の輪が広がってい
くようおかや音楽協会では、これからも活動していきたいと
考えています。

みなさん、いっしょに『百歌』を歌い継いでいきましょう。

おかや音楽協会のあゆみ

発足〜平成25年度

2011年

- 7月7日 第5回準備委員会
- 10月24日 第8回準備委員会

2012年

- 1月1日 おかや音楽協発足
- 4月1日 MUSE(ミュージズ)創刊号 発行
- 4月22日 平成24年度総会及び交流会(諏訪湖ハイツ) 個人会員25人、団体会員15団体
- 8月4日 チャリティーコンサート応援バザー(笠原書店)
- 9月29日 東北大学学友会吹奏楽部・信州大学吹奏楽団

- 10月26日 MUSE(ミュージズ)秋号(2号) 発行
- 11月3日 岡谷市民音楽祭(カノラホール)

- 11月3日 岡谷市民音楽祭(カノラホール)

- 11月4日 おかや音楽協会諏訪湖マラソン応援隊
- 12月1日・8日 歌いつごう! 日本のおた(歌魂(うただま)のつどい)(カルチャーセンター)

2013年

- 4月21日 平成25年度総会及び交流会(諏訪湖ハイツ) 個人会員54人、団体会員17団体



- 6月1日 MUSE(ミュージズ)夏号(3号) 発行
- 6月23日・30日 講座「親子の! 歌の時間」(カルチャーセンター)
- 7月20日 岡谷市民音楽祭の歴史を語る会(諏訪湖ハイツ)

- 10月12日 岡谷フェスタ出演 第70回記念岡谷市民音楽祭

- 10月17日 おかや音楽協会諏訪湖マラソン応援隊

- 11月3日 第70回記念岡谷市民音楽祭(カノラホール)(市民音楽祭の歴史パネル展示、アンサンブルファンファール招待演奏、アルクマ・ケート出演)



2014年

- 1月15日 MUSE(ミュージズ)冬号(4号) 発行
- 1月19日・25日 講座「歌いつごう!日本のおた」(諏訪湖ハイツ・カルチャーセンター)
- 2月22日 会員意見交換会「おかや音楽協会を語ろう」(長地公民館)

♪ 会費は、現金納入または、下記の口座への振り込みをお願いいたします。

ゆうちょ銀行	
口座記号番号	00530-6-100936
加入者名	おかや音楽協会
ゆうちょ銀行以外からの振込用口座番号	
0五九(ゼロゴキュウ)店	(059)当座 0100936



<問い合わせ先>

事務局 高木千奈美 (TEL/FAX 0266-22-1965) 〒394-0004 岡谷市神明町 4-4-1

平成26年度



- 4月26日 平成26年度総会及び交流会（諏訪湖ハイツ）個人会員66人、団体会員17団体
- 6月22日・7月6日 主催講座「家族の！歌の時間」カルチャーセンター
- 8月2日 「歌魂のつどい」童謡・唱歌を歌いましょう」諏訪湖ハイツ ロビーコンサート
- 8月23日・24日 諏訪の長い夜市立岡谷美術考古館コンサートに参加

- 10月26日 おかや音楽協会諏訪湖マラソン応援隊
「ごちゃまぜウインドオーケストラ」が伴奏に協力、「ウルトラしみん合唱団」が練習後に加わり大勢の歌声が響き渡り諏訪湖マラソン市民ランナー達から「元気をもらった」と喜ばれました。



- 10月11日 おかやフェスタ 美術考古館テラスコンサート
ごちゃまぜウインドオーケストラ、上の原小学校音楽クラブ



- 11月3日 第71回岡谷市民音楽祭（カノラホール）※特集記事参照
「世代をこえて百曲の歌を歌おう」
通称：百歌（ひやくうた）発売開始！
団員募集中の音楽団体一覧表を配布
- 11月8日・25日 歌いつごう！日本のうた（カルチャーセンター）
「世代をこえて百曲の歌を歌おう」
通称：百歌（ひやくうた）が完成して初の歌魂部会の活動となりました。
- 11月29日・30日 たのしの森（ラオカヤ2F）に参加

- 「岡谷市放課後子ども居場所づくり事業」での歌の講座
年間複数回ずつ

- ・ 長地小学校 おさつちあ
- ・ 川岸小学校 とちつこ広場
- ・ 神明小学校 はばたきラボ
- 公民館主催事業での歌の講座
6月20日 湊公民館 「いちい学級」
8月27日 湊公民館 「感受性を育てる歌の世界」



- ♪ 個人会員 会費（年会費） 2,000円
 - ♪ 団体会員 会費（年会費） 3,000円（20人未満の団体）
5,000円（20人以上の団体）
 - ♪ 賛助会員 会費（年会費） 一口 5,000円
- 4月1日から翌年3月31日までの1年間です。

- ♪ 入会のお申し込みは、申込書を事務局宛にお出しください。
※入会申込書は、おかや音楽協会 Web サイトからダウンロードできます。
おかや音楽協会ホームページ <http://okayaonkyo.com/>



コラム カノン⑤

会長 林新一郎

本年六月十二日に福島県郡山市へ音楽のまちづくりを実際に見聞しようと訪問しました。郡山商工会議所は東日本大震災で大きな被害を被った為に仮の事務所が設けてありました。改めて震災の物凄さを実感させられました。

あらかじめ訪問の目的を伝えてあったので、佐々木専務さん始め職員の皆さんが親切にまた的確に対応して下さいました。皆さんが楽都郡山には特別な思い入れがお有りのようで、期待が膨らみました。

さて、郡山市は大正十三年全国九十九番目の市政を施行され、現在人口三十三万の福島県の中核都市で有ると同時に東北地方の交通、物流の要衝であり、行政サービスの水準は東北でトップの都市として栄えてきました。驚いたことは、岡谷市とも深い繋がりが有ることが今回の訪問で判明しました。すなわち明治以降郡山に岡谷の製糸家が進出し、岡谷市縁の多くの人材が活躍したのです。なんと、歴代市長や会議所会頭の中には、岡谷市にルーツが多いとお聞きし、改めて先人の努力に頭の下がる思いでした。

また、楽都郡山の背景には、苦渋の歴史があったのです。明治維新後の安積開拓や安積疎水の開拓により急激に人・物・金が全国より集まりました。人口が急増し、暴力団の巣くうまちなり東北のシカゴとまで揶揄されるようになってしまったのです。多くの心有る市民は現状を憂い、暴力に対するアンチテーゼとして芸術文化などを尊ぶ風潮が醸成され、特に音楽はジャンルを超え幅広く市民が受け入れ、東北のウィーンと言われるまでに発展を遂げたのです。

ここで、市民が心血を注いで成し遂げた音楽のまちづくりの足跡を辿ってみます。

昭和二十九年、本格的なオーケストラを聴きたいという市民の熱い想いが結実し、旧国鉄郡山工場の四二〇〇人収容の大ホールでのNHK交響楽団公演は、まさに大きなターニングポイントとなり、人々は音楽の持つ力を自信に換え様々な取組がなされました。昭和三十九年の十万人コーラス運動、昭和四十年の二十万人コーラス市民パレードが実施されて様々な音楽文化の盛んなまちづくりに弾みをつけました。これらの活動は暴力のまちから音楽のまちへ生まれ変わるドラマチックな転換点として東宝映画社により【百万人の大合唱】として映画化されました。

郡山市内の中高合唱部はNHK等のコンク

ルで数多くの入賞をしていることは全国的に高い評価を得ています。

昭和四十九年には伝説のワンステップフェスティバルが開催され、オノヨウコや内田裕也、沢田研二、山下達郎等のメンバーにより、日本初の野外ロックフェスティバルが開催されました。郡山は日本のロック黎明期の起点となり、さらに野外ロックコンサートの発祥の地でもあるのです。このような幅広い音楽への取組が市民は元より世界に高い評価をされる音楽都市を目指し新たななるチャレンジのスタートを切ったのです。

ここに音楽都市宣言文を紹介し、結びとします。

音楽都市宣言

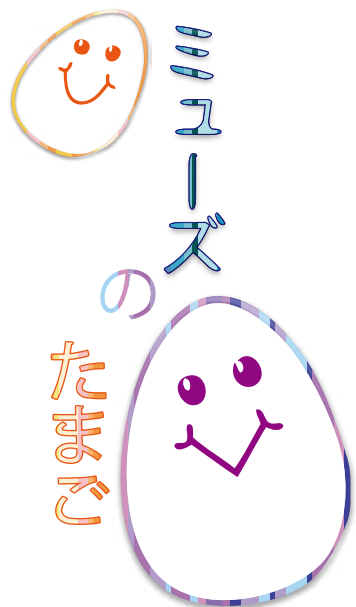
美しいメロディー
心おどるリズム
音楽がまちにあふれ
人の輪が広がり心をつなぐ

私たちは音楽を愛し
人と人が織りなすハーモニーを奏で
明るい笑顔が輝く
魅力あるまち
“こおりやま”を創ります

「明日につながるこころのハーモニー」

郡山市は、ここに「音楽都市」を宣言します。

平成20年3月24日 郡山市



このコーナーでは、市内の子どもたちの音楽活動をお伝えしていきます。

上の原小学校 音楽クラブ

市内の小学校では、一校のみとなる合奏部を持つ上の原小学校。毎朝、元気に練習をしている



音色が、音楽室いっぱいに響き渡ります。子どもたちが、様々な音楽を楽しめるようにと願いを込めてつけられた「音楽クラブ」という名前のとおり、以前は合唱なども行っていたそう



ですが、現在は、四年生から六年生までの児童三十五名が、金管合奏に専念して頑張っています。四年前に、金管楽器での演奏をしてみたいとなった時、学校には金管楽器がほとんど何もな

かったそうです。当時の顧問だった先生方が、がらくた市めぐりや様々な工面をして、中古の楽器を何とか手に入れ、自ら丁寧にメンテナンスを施し、さらに、その苦勞を知った子どもたちが楽器に命を吹き込み、合奏クラブが立ち上がったという発足時のエピソードをお聞きし、とても夢があつて素敵だなあと感じました。

クラブ活動は年間を通じて行われ、校内では入学式や運動会などでの演奏、校外では年に一度の県大会である「小学校バンドフェスティバル」をはじめとする、様々な大会への出場や市内各地での演奏発表など、目標となるイベントはもりだくさん。しかし、その分、新しい曲や課題曲も覚えていかななくてはいけないので、子どもたちにとっては大変です。つい日々の練習

から逃げ出したくなってしまいう時もあるそうですが、すばらしいハーモニーを奏するため、みんなが心をひとつに合わせ、音と音がつながっていくのを楽しみながら、互いに励まし合つて、毎朝の練習を頑張っているそうです。聴かせていただいた演奏は、キラキラと光る音符の粒が、未来へとつながる真つ白なスコアに希望のメロディーを刻んでいくような初々しさと、反面、自信をもって堂々と演奏している力強さとが合わさり、とてもかっこよかったです。今後のさらなる活躍を期待しながら、また演奏が聴ける日を楽しみにしています。



岡谷西部中学校

中学生……。この年頃の子どもたちは自意識がしっかり芽生えてくるために、どうしても恥ずかしさや照れが先行してしまい、豊かな表現力が欠如しがちなもの。歌うことに対しては、恥ずかしさが上回ってしまう子どもたちが多いようです。そんな中「西中生は、男子も女子も、良く歌っていて素晴らしい！」との評判を耳にしたので訪ねてみました。

話題となっていたのは、八月に行われた岡谷美術考古館ロビーコンサートや西中祭などで、総合的な学習の時間（TAKOYAMA）『地域の音楽』講座を選んだ子どもたちの歌声でした。



合唱指導は、音楽専科の平直子先生。今年から始まった講座で、



から伝わっている曲が、歌えるのかな」などと考えて、講座を選んだとのことでした。

講座は、六月から始まり全十回が終了しましたが、市民音楽祭への参加など、自主的な活動が続いていました。この活動の中で「琵琶湖周航の歌は、（愛の鐘に使われていても）意識したことがなかったけど、歌ってから初めて意識するようになった」「あざみのうたや里の秋など、初めての曲をいろいろ歌えて良かった」などの感想の他、学年を越えた



一〜三年全二十三名。この内、男子は三名だけでしたが、大きな存在感がありました。

音楽好きな子どもたちが、それぞれ「小学校の合唱部にいたので、今までやってきたことを生かせる場かな」「地域で昔仲間と共に語り合唱した喜びも語ってくれました。ことに、「西中祭で最後に発表したワインディングロードでは、全校で盛り上がった」と、感動的な体験もしたようでした。



取材に応じて集まってくれた三年生五人は、最後に三澤さんの伴奏で琵琶湖周航の歌を聴かせてくれました。「長い曲だけど、どうする」との先生の問いにも「全曲歌います」と即答。子どもたちが、これまで自主的に活動してきたであろう姿を彷彿とさせました。

さまざまな天変地異、社会事件など、将来が不安になりがちな昨今。この時の、のびやかな歌声には、この子どもたちが創っていく岡谷の未来が、明るいものであることを予感させてくれる力がありません。



編集後記

●佐々木前委員長から広報委員長に指名され最初のMUSEをなんとか発行できてほっとしています。委員の皆様も持ち味を十分出せたのではないかと思います。今回から部数を増やして全会員から一般の方まで多くの方々に届けられるようになりました。それぞれの活動の楽しさ、ワクワク感が伝わり、おかや音楽協会の未来に貢献できれば幸いです。(今井)

●音楽祭の練習中、演奏後多くの人に声をかけてみた。“楽しい”という感想がどの方からも返ってくる。その楽しさの訳は皆違っている、充実感はその表情から確かに伝わってくる。音楽は人と人の心をつなぎ、仲間と生きていることを実感できるからでしょうか。“楽しい”は音楽の素敵なメッセージ!(金子)

●市民音楽祭の取材を通じ、岡谷の音楽文化の歴史が育んで来た成果に感動する一方、やや寂しい一般来場者数に今回も、もったいなさを感じました。(佐々木)

●音楽のまちづくりを目指して、少しでもいい情報誌を作ろうと集まる、この広報委員会のメンバーに出会えたことに感謝しています。

力作のMUSE、多くの人が目にしてくれたら嬉しいな。(林)

●色づいていた木々の葉は、惜しんでもなお散り始め、山々の紅葉と澄みわたった秋空の青さが目に留まる季節となりました。

あちらこちらでの文化祭や音楽会を鑑賞できる機会がある事に感謝。

人・音・夢 音楽をこよなく愛する
沢山の方々にも出会えた。(宮坂)

●自分の寿命は、父が亡くなった時の年齢 59 歳迄だと、漠然と思い込んで来た。酔うと第九を歌っていた父の姿を求めてカノラホールのこけら落としに参加したのが、岡谷での音楽活動の始まり。還暦を迎えて、自縛が溶けた今。これからは、もう少し社会に役立つ実力をつけていきたいと思う。(宮澤)

●おかやの街もすっかり冬の訪れですね。

いつも外に出かけるのも億劫になってきました。

なにかの様に丸くなってコタツで寝たい誘惑が(笑)
春がくればと切に思います。(宮下)

編集委員

今井 康善
佐々木一夫
金子 慶子
林 みな
宮下 雄飛
宮坂 久恵
宮澤 綾乃



取材に伺った時には、第十五回定期演奏会を目前にして、仕上げの練習の真っただ中。
設立は、一九五九年(昭和三十四年)という事で、半世紀以上の歴史を積み重ねてきた伝統あるクラブでした。



岡谷マンドリンクラブ

今回は、音楽協会に加入したばかりのニューフェースを突撃レポートしました。



2014.10.11 の演奏会

旧岡谷市音楽協会に所属して、ほぼ毎年演奏会を開催。発足時の指揮者は、明治大学マンドリン倶楽部で学生指揮者を務めた下村幹夫氏。そして、全日本アコーディオンコンテストで金賞を受賞した、名手堀向雅夫氏も参加していたとのこ

と。設立当時のエネルギーを感じさせるエピソードです。三十代〜七十代と年齢層も厚く、広域から集まって来て練習しているという今もなお、エネルギーギッシュでした。
音色で演奏していました。得意とするのはタンゴ・ラテン音楽。他には、オリジナル曲。時には、クラシック。その時々露し続けてきたのだとか。
これからも、年一回の定期演奏会、長野県マンドリニスト集会への参加、ミニコンサートなどの活動を意欲的に続けていくそうです。



マンドリンオーケストラ(オーケストラ)

- ① マンドリン1 (ファーストバイオリン)
- ② マンドリン2 (セカンドバイオリン)
- ③ マンドラ (ビオラ)
- ④ マンドセロ (チェロ)
- ⑤ フルート・アコーディオン・ギター・ベースなど
- ⑥ ボンゴ・コンガ・マラカスなどの打楽器



Special Thanks

◆賛助会員のみなさま◆

社会保険労務士法人 有賀事務所
 今井整形外科医院 今井智彦
 (株) オグチ楽器
 (株) 笠原書店
 (株) カネル
 (株) 観光荘
 手造り味噌工房 喜多屋醸造店
 C O C O 塾 銀座教室
 佐原音楽教室
 サツマ外科医院 薩摩林恭子
 (有) 三共モーターズ
 地酒の(株) 信濃屋
 宗教法人 照光寺
 たんぼぼ英語教室
 (株) 豊島屋
 (有) ヌーベル梅林堂
 (有) フキドウ
 芳水園
 (株) 丸真製作所
 (敬称略・アイウエオ順)

◆団体会員のみなさま◆

青葉愛唱会
 アンサンブルM i l o u
 歌い人ごんべ
 岡谷合唱団
 岡谷熟年歌唱会
 カノラータオーケストラ
 カノラ少年少女合唱団
 川岸女声コーラス
 混声合唱団「岡谷せせらぎ会」
 女声コーラスしなの
 スズキ・メソッド岡谷諏訪
 ハーモニカ 21
 ふらっとり
 やまびこ男声合唱団
 ラララ・カンガルー
 (敬称略・アイウエオ順)
 おかや音楽協会に関わる全てのみなさま